

掘る

時を越える銀の魅力

暗やみの中、ほのかに揺らぐ灯りが浮かび上がる。

石をつがつ音が、坑道の中にこだまする。

息を弾ませた男たちが、

掘り出された石を背負って出てくる。

その石は何のへんてつもない石に見えるのだが……。

しかしその石は銀に変わり、大森を旅立つ。

大森の銀は「そうま銀」として世界を動かした。

いま銀山は閉山したが、

その銀はふたたび輝きつつしている。

